

丹後オープンファクトリー2026「NeoTAN」を開催します！

～ 44のものづくり現場が開かれる ほお～わぁ～おぉーの3日間 ～

令和8年10月1日

京丹後市役所

丹後オープンファクトリー実行委員会では、地場産業である丹後ちりめんや、機械金属業など様々な現場を国内外の方々へ開放し見学・体験の受け入れを行う「地域一体型オープンファクトリー」に取り組んでいます。

このたび丹後地域の44事業者の現場を一斉に開き、職人や技術者との直接対話や体験を通じて、“ものづくり力”を間近に感じられるイベントとして丹後オープンファクトリー2026 NeoTAN(ネオタン)」を開催しますのでお知らせします。

1. 開催期間

・令和8年10月30日(金)～11月1日(日)

各日 10:00～17:00

2. 会場・内容

・丹後地域の各事業所(京丹後市24者、与謝野町12者、宮津市8者)

工場や施設の公開見学・体験プログラム

〈総合案内〉

・丹後織物工業組合 TANGO OPEN CENTER

(京都府京丹後市大宮町河辺 3188)



詳細情報は公式 web サイト

3. 主要イベントのご案内

講演・トークセッションイベント

「まちと産業の可能性 ～未来に向けて“イベント”は何ができるか～」

日時:令和8年11月1日(日) 13時30分～15時30分

場所:丹後織物工業組合 TANGO OPEN CENTER

スケジュール:

○講演 丸山 一芳 様 (京都橘大学経営学部教授)

※全国の半数以上のオープンファクトリーに参加し、研究している丸山氏に、各地ではどのようなオープンファクトリーが開催されているのか、NeoTANの特性は何なのかお話しいただきます。

○トークセッション

丸山 一芳 様 (京都橘大学経営学部教授)

藤井 昌弘 様 (COME/西脇・多可オープンファクトリー「もっぺん」代表)

山崎 伸吾 様 (工芸ディレクター/キュレーター)

廣瀬 和歌子 様 (ヒロセ工業/丹後オープンファクトリー実行委員)

※オープンファクトリーや工芸・ものづくりのイベントを手掛ける登壇者に“イベント”を通じて実現しようとしていることをお聞きしながら、イベントを通じた地域や産業の可能性を探ります。

○来賓あいさつ

京丹後市長・与謝野町長・宮津市長・京都北都信用金庫理事長が、NeoTAN開催地および地元金融機関として挨拶します。



《当日の取材等に関する問い合わせ先》

丹後オープンファクトリー実行委員会事務局

京丹後市商工観光部商工振興課(小幡)

E-mail shokoshinko@city.kyotango.lg.jp

TEL 0772-69-0440、FAX 0772-62-6010

地域一体型オープンファクトリーについて

ものづくりに関わる中小企業や工芸品産地など、一定の産業集積がみられる地域を中心に、企業単独ではなく、地域内の企業等が面として集まり、生産現場を外部に公開し、来場者にもものづくりを体験してもらう取り組みのことです。参加者との交流や各事業者の認知度向上、新規事業や雇用機会の創出を通じて、産業の持続化を目指しています。

丹後オープンファクトリーについて

京丹後市、与謝野町、宮津市の事業者及び関係行政機関、経済産業団体、金融機関等の協力団体並びに京丹後市、与謝野町、宮津市で構成し、丹後地域におけるものづくり企業の魅力発信と地域活性化に向けて、オープンファクトリーイベントを円滑に開催するために必要な事業を行うことを目的に 2025 年4月に設立されました。今年度から新たに宮津市もイベントに加入しました。

- 主催 丹後オープンファクトリー実行委員会

実行委員長	高杉 鉄男（株式会社溝川 代表取締役社長）
副実行委員長	糸井 宏輔（丹菱株式会社 代表取締役）
実行委員	廣瀬 和加子（ヒロセ工業 管理部主幹）
	田中 英輝（大善株式会社 専務取締役）
	砂後 隆正（砂後建設株式会社 代表取締役）
	杉本 悠一（豊屋辰蔵杉本豊店 代表）

《協力団体》

丹後織物工業組合、丹後機械工業協同組合、京都北都信用金庫、ハローワーク峰山、ハローワーク宮津、京丹後市商工会、与謝野町商工会、宮津商工会議所、与謝野町観光協会、京丹後市観光公社、京都府丹後広域振興局、京都府織物・機械金属振興センター

《事務局》

京丹後市商工振興課・与謝野町産業観光課・宮津市商工観光課

- 後援 近畿経済産業局

- 協賛 京都北都信用金庫、株式会社ヨウサンコーポレーション、KDDI 株式会社